


地域密着型サービス評価の自己評価票

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	事業所独自の理念はあるが、「地域の中で...」という理念ではない。	○	「地域の中でその人らしく...」ということも含まれた理念の検討をする。
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	特に大切にしている「人の和」については開所当時から伝えてきており、理念の実践に取り組んでいると考えている。		現状維持。
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	取り組んでいるとはいえない。		
2. 地域との支えあい				
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	日々の散歩時にお花を頂いたり、当苑で作っている作物を見て頂いたり等の交流はある。又、去年の敬老会では、ご近所のご老人さん(2名)をご招待し、来て下さった。		
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	開所当時より自治会には入会させて頂いているが、地域活動には全く参加させて頂いた事はない。	○	まずは、当苑を地域の方々に知って頂く活動から取り組んでいき、それが、地域活動への参加の声がかけて頂ける事につながっていくと考えている。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	去年、敬老会に近隣の高齢者2名の方を、ご招待した事はあるが、特に話し合いを持ちながらといった積極的な取り組みはしていない。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	過去2回評価を受けているが、それにより具体的な改善に取り組んできたとは言えない。	○	今後は、評価を前向きに受けとめ、改善に活かしていきたい。
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	毎回、出席者から意見を頂いており、それを具体的なサービス向上に生かして頂いている内容もある。		現状維持。
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	会議以外に、行き来する機会は、現在のところない。		
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	これまでに、それらについての研修会を行った事はない。	○	今年の上旬には研修会の予定がある。
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	学ぶ機会はこれまでもった事は無く、又、これまで虐待が行われた実体は無く、特に注意、防止に努めているとまでは言えない。	○	苑内研修に組み入れていきたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4.理念を实践するための体制				
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時に、納得して頂けるよう十分説明していると考えている。又、解約についても解約時に説明しており、解約時にも納得し対処して頂いてきた。</p>		現状維持。
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>日々、管理者や職員に伝えられる方もおられ、又、運営推進会議の場で意見を表して頂くようにもしており、頂いた内容については必ず、ご本人に納得がいくよう、度対応してきた。</p>		現状維持。
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>面会の少ないご家族には、1ヶ月に1回、書面にて状況報告している。又、個々の預り金については、出納帳明細と領収を1ヶ月に1度報告。職員配置については、廊下に常に掲示し明確にしている。</p>		現状維持。
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>現在のところ運営推進会議の機会しかない。</p>	○	「さくらんぼ便り」を通じ、ご意見のある方は、運営推進会議に出席していただくようにする。
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>特に設けた事はない。</p>		
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>ご利用者の状況により、カンファレンスを通じ、職員の基本勤務時間を変更する等し、ご利用者の安全、安心が図れる様、対応してきた。</p>		現状維持
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の異動時には、利用者に事前にお話しし、又、離職の際には、ご利用者と一緒に送別会を行う等し、利用者のご理解して頂くよう配慮してきた。</p>		現状維持

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	思った程の研修の機会がこれまで確保出来なかった。	○	毎年度計画をたてて、研修の機会を確保していく。
20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者については、他のグループホーム管理者と自主的に交流する機会を持っているが、職員については交流する機会は持たれていない。	○	他同業者と職員同士が交流する機会を持っていく。
21	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	取り組んでいるとは言えない。		
22	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	3年目に入り、給与のアップに努めており、又、今年から特に努力のみられる職員には「ガンバッタで賞」という賞を作り、商品添える等し、向上心を持って頂くよう努めている。		現状維持。
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	利用までの段階で、訪問させて頂き、直接ご本人自身から聴き取る機会を作っている。又、その際、ご家族からも、ご本人に関する情報を出来るだけ詳しくいただくように努めている。		現状維持。
24	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	同上。		現状維持。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>これまでは、相談を受けた段階では、満床の為、即時に受け入れられない状況が続いてきており、相談時に、「その時」可能な他のサービス利用も含めご説明してきた。</p>		現状維持。
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>これまで、ご家族が不安を抱えていらっしゃる方について、まずは、短時間のサービス利用をして頂き、入所の可否を決定されたケースもあり、ご希望や必要により工夫はしてきた。</p>		現状維持。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>一緒に食事作り、掃除など家事を共にするようにする事で、喜怒哀楽を共にし、支えあう関係は築かれていると考えている。</p>		現状維持。
28	<p>本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>入所の際に、ご家族としてのつながり、支えて頂く関係についてはお話している。</p>		
29	<p>本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p>	<p>面会の少ないご家族には、月に1度の状況報告により、家族との接点を設けたり、又、日々の面会の多いご家族については、ご本人の心情を察し、外出、外泊の要請を無理のないようにしてきた。</p>		現状維持。
30	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>ご本人の要望により、電話連絡をしてさしあげたり、必要によっては、お墓参りや以前お勤めされていた場所へご案内したり等、支援に努めてきた。</p>		現状維持。
31	<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている</p>	<p>暴言があるご利用者もいらっしゃったり、なかなか他利用者とうまく関わりあえないご利用者については、職員が間に入り、取り持つようにし、孤立せずに生活して頂くよう努めている。</p>		現状維持。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退所後の方向性等、必要に応じ、ご相談に応じる等の支援はしてきた。それ以外についての付き合いは今までのところはなかった。退所後、ご利用者だった方への訪問はさせて頂いてきた。		現状維持。
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	週1回のカンファレンスの実行や日々の状況把握を通し、利用者の思いや希望に沿えるよう努めている。		現状維持。
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前の聴き取りや情報提供によりアセスメントを作成し、カンファレンスを行なう事で、対応する職員は把握に努めている。		現状維持。
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	日々の各人の状態を、朝夕の申し送り、記録を通し勤務前には必ず把握してからケアにあたるようにしている。		現状維持。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	定期的モニタリングを行い、その結果や現状をご家族に直接お話し、又、ご家族、ご本人から生活上の希望もお聴きしたうえで介護計画を作成している。		現状維持。
37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	新たな計画を見直し時に作成するまでは至っていないが、ご家族には変化の状況は度、伝え、ご相談し、又、職員間でのカンファレンスを行う等で、現状に即した対応はしてきた。	○	見直し時には新たな介護計画をたてる。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の、全体の介護日誌、各人のケース記録に記入し、勤務前には必ず把握し、ケアにあたっている。又、次の介護計画の見直しにも記録を見る事で活かしている。	○	現状維持。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	様々なご要望に対し、出来るだけ受け入れが出来るように前向きに取り組んでいる。又、ご要望通りに対応できない場合でも、それに近い、又代替出来るような対応に努め、ご本人やご家族に納得して頂いていると思う。		現状維持。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	2ヶ月に1回の運営推進会議には地元の民生委員さんや駐在所の方へ出席して頂き、又、年に2回、消防署の方々に来ていただき、防火訓練を実施するなど、協力を頂いている。		現状維持。
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	ご利用者については、地域のほかのケアマネジャーやサービス事業者との関わりはないが、本人の意向や必要性に応じて、当苑のデイサービス利用の支援をしてきており、現在は1名の方が週1回利用されている。		現状維持。
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	協働していない。		
43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入所時には内科のかかりつけ医をご家族の希望により決定して頂いている。現在、全利用者について当苑の協力医をかかりつけ医とされており、かかりつけ医とは、24時間体制の契約により、常に、適切な医療を受けて頂いていると考えている。		現状維持。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	必要に応じ、ご家族と相談の上で、専門医の治療を受けて頂いている。ご家族が対応される方については毎回受診時に書面と口頭で家族に現状を伝えている。又、症状の変化については、必要により医師に電話して上申をする等の支援をしてきた。		現状維持。
45 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	利用者のかかりつけ病院である看護職員に往診時に相談したり、又、当苑のデイサービスの看護職員に必要な応じ相談し、支援に生かしている。		現状維持。
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院された際には、病院に訪問し、看護師より病状をお聞きしたり、リハビリの状況を実際に確かめたり、又、ご家族とも連絡をとりあいながら、出来るだけ早期に退院して頂けるように努めてきた。		現状維持。
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	徐々に重度化した段階でかかりつけ医、ご家族の意向をお聞きする等話し合い、方針を共有してきた。		現状維持。
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	これまでに、それらについての研修会を行った事はない。一人についてそういったケースがあった。その際には、かかりつけ医とは常に連携をとり電話にて上申や日々に臨時往診して頂いたり、又、施設で行なうケアについても相談をし、今後の変化に備えての検討や準備も行っていた。		これまで1ケースしかなかったが、今後そういったケースが発生した場合には、ご家族、担当医、当苑職員と正式なカンファレンスを行ないながら出来るだけ万全の体制で支援していきたい。
49 住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	次の居所への関係先へは、書面や当苑への事前訪問時に、口頭等で積極的に情報提供を行う等、極力努めてきた。		現状維持。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>			
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>			
<p>(1) 一人ひとりの尊重</p>			
50	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>トイレの時の声がけは小声で他社に聞こえないようにさりげなく行っている。又、名前の目立つ記録物などは出来るだけ利用者の目の触れないところに保管する等配慮している。</p>	<p>現状維持</p>
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>飲み物、お菓子、その日着用される洋服の選択等、日々の細かい事からでは、個々の表現出来る能力に合わせ、問い方から、職員が少しずつ日々の実践を通し学んでいる段階である。職員が勝手な思い込みケアする事なく、各人に、一つ一つの物事に対し納得して暮らして頂けるよう努めている。</p>	
52	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>各人の生活パターンがあり、又それも日々の体調やご気分によって違う場合もあるが、ご利用者の思いに沿って度、支援している。</p>	<p>現状維持</p>
<p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>ご本人に出来るだけ着て頂く洋服は選んで頂く等し、又、理美容はご希望により、当苑の理美容ルームで有資格者の職員が、スタイルをお聞きして散髪したり、外部の美容室に行かれるなど自由にして頂いている。</p>	<p>現状維持</p>
54	<p>食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>毎日の午前には、利用者と職員と一緒に食事作りを行い、毎食の盛り付け、片付けもご利用者を中心に行っている。</p>	<p>現状維持</p>
55	<p>本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>ご本人の意向をお聞きし、これまでに喫煙を苑でも継続してこられた方もある。又、朝食にパンご希望の方には、パン食にしたり等、出来るだけ各人の好みに沿えるよう支援している。</p>	<p>現状維持</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	出来るだけ日中はトイレでの排泄に心がけ、排尿チェック表を必要に応じてつけ、本人の排泄パターンをつかみ、それに合わせて、トイレ誘導をする等の支援をしている。		現状維持
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日10:30～19:30までの間で、ご本人の希望や体調に合わせて、入浴を楽しんで頂けるよう支援している。		現状維持
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	夕食後21時まで、リビングにてテレビ観賞されている方や夕食後すぐに帰室され、丹生民される方等、各人の生活パターンに合わせた支援をしている。又、日中も同様である。		現状維持
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	編物、料理、裁縫、洗濯物畳、掃除、畑の作物の収穫、草取りなど、出来るだけご本人の力を活かして頂けるように支援している。		現状維持
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	外食やご本人の買い物に出かけて頂いた際には、出来るだけご本人の財布から本人が支払いして頂けるように支援している。又、管理能力のある方については、自室にて小額を所持していらっしゃる方もいる。		現状維持
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	毎日の苑周辺散歩、日々の食材の買い物等、各人のご希望にそって、出来るだけ出かけて頂けるよう支援している。		現状維持
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	春から秋までの間には、利用者の希望も取り入れながら、お祭り、文化祭、100円ショップ、景勝地神社など度々外出している。去年は大山紅葉狩り、堀川遊覧めぐりと遠方への外出も楽しまれた。		現状維持

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご希望者の希望があった度、施設側から(ご本人が電話対応)相手先への電話の支援は日常的に行っている。		現状維持
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	自室が広いこともあり、訪問された際には、お茶をお出しし、自室にてゆっくりくつろいで頂くようにしている。又、ご家族によっては、自室で一緒に泊まれたケースもこれまで何回がある。		現状維持
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	取り組んでおり、現在まで身体拘束はしていない。		現状維持
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中、鍵はかけていない。全ての職員もそのことについては十分理解している。		現状維持
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	普段から安全に配慮している。特に不穏時や入所後間がない利用者には、特に気かけ、担当者をつける等プライバシーに配慮しつつ安全に気を配っている。		現状維持
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	各人の能力に応じ日々扱う包丁、はさみ等、危険物でも配っている。一律になくすことは無く、さしつかえない方については、職員の見守りのもと、日常的に使用して頂いている。		現状維持
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	転倒等の事故が起こった際には、必ず職員会議を通し、再発防止について話しあってきた。又、そのような危険性のある方についてはカンファレンスを通し、普段より危険予測に伴う対応に取り組むようにしている。又、誤薬のないよう、ご本人が服用されるまでに3人の目でチェックをしてから服用して頂いている。		現状維持

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	年に1回、消防署より来て頂き、救急法の講習を受けている。又、普段より急変、事故発生時に備え、各人で復習するよう周知している。		現状維持
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	働きかけているとは言えない。		
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	起こり得るリスクについて家族には十分説明した上で、どうい対応を望まれるのか、又、施設側としての考え方も持ちかけながら、出来るだけ抑圧感の無い本人らしさを大切にしたい暮らしがして頂けるような対応策を話し合ってきた。		現状維持
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	常に全利用者の体調を把握するよう心がけている。特変事項については、看護記録で情報を共有。必要に応じ、かかりつけ医に上申し指示を頂いている。又、ご家族にも特変時には必ずご連絡している。		体調変化に、即やかに気付く事が出来るよう、普段から各ご利用者の状況把握に努めていき、特変時には早期にかかりつけ医に上申する。
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人別に服薬チェック表を作成し、服薬名、服薬錠数を記入している。チェックは複数の職員で毎日確認している。又、個人ファイルに処方された薬の一覧表を綴っており、全職員がいつでも把握出来る状況にある。		各人の処方薬の確認する際は、毎回慎重に行う。又、薬の変更時には、速やかに対応し、介護日誌、連絡ノートを通じ、職員間の情報伝達を徹底する。
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	毎朝全員が牛乳を飲用している。又、状況によってはヨーグルトを提供している。又、普段の食事に野菜を取り入れた料理を献立に取り入れている。日々散歩、毎朝の体操は習慣的になっている。		現状維持
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	基本的には、毎食後、口腔ケアを行っている。介助が必要であったり、拒否のある方については、ケアチェック表を作成し、担当を決めて、もれのないようにしている。ご利用者によっては拒否が強く、現在のところ、1日1回のプランに対し実行しているご利用者が1名いらっしゃる。		毎食後、全員の方の口腔ケアを実施。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	病状、体調に応じた料理提供をしている。 (糖尿病の方は主食量の計測、刻み職やミキサー食での対応、希望により朝食をパン食で対応など) 又、必要に応じて、水分、食事量チェックを行っている。		現状維持
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	毎年、ご希望を取り、インフルエンザの予防接種はほぼ全員の方が行っている。又、毎日の掃除には、各居室、共用の間の出入口の取っ手、床、使用している椅子などハイター水で拭いている。H19年度は全職員が食中毒に関する講習会に参加した。		現状維持
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	まな板は週3回夜間、ハイター消毒している。キッチン台、調理台は常に清潔を保つよう心がけ、布巾もハイター消毒した物を使用し、度、交換し使用している。食材も購入後、なるべく早く使い切っている。		現状維持
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	外出時には玄関横の屋根つきスペースに車をとめるスペースがあり、又、玄関内にはご利用の方が座って履物が履ける様、多スペースにわたってソファが設置してある。		ご利用者の方々に季節を感じて頂け、又、近隣、面会の方に親しみをもって頂ける様、今後も、季節感のある装飾品や絵画を置いたり鉢花を置くなど継続していく。
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の間は、オープンなつくりになっており、台所はアイランドキッチンであり、ゆったりと過ごせるスペースになっている。8畳の和室も続きにありオープン医も閉室にもなり、冬場はコタツを敷きゆったりとご利用されている。音楽を流したり、テレビをつけたりと適度な音響も日常的に流れている。		生花や鉢花は適度にあるが、もう少し季節感が感じられる共用の間にして頂きたい。また、現在、和室にコタツが1台あるが、ひざの悪い方の為に、椅子に座ったままで使用出来るコタツの設置を現在検討している。
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングと和室と両方にテレビが置かれ、又、和室は閉室にもなる為、その場その時の状況でご利用者の方々に思うように使用して頂いている。		現状維持

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入所時には出来るだけ、今まで愛用されていた家具を取り入れ、ご本人らしさの感じられるようにお話ししており、全員とは言えないが、大半は個性の感じられる居室であると思う。又、ご利用者の状態に応じて、生活しやすい様に相談のもと、家具ベッドなどの配置の工夫にも心がけている。		現状維持
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	毎朝、全居室の換気を行っている。又、お昼の共用の間の掃除の際には、共用の間の換気を行っている。ご利用の方々に寒さ、暑さを度、お聞きし温度調整に努めている。		現状維持
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	随所に手摺を設置。又、廊下、リビングは広くゆったりと安全に行き来できる空間になっている。		現状維持
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	各人の能力を見極め、それぞれに応じた家事内容を日々の生活に取り入れ行って頂くようにし、少しでも自立、自信につながるように支援している。		現状維持
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	外には畑、ハウスがあり利用者の方と一緒に野菜の収穫、草取りなど年間通し楽しんでいる。又、テラスは、リビングから出入りしやすく、スペースも広く、春～秋期には日常的に、日光浴やお茶会、体操などに活用している。		現状維持

サービスの成果に関する項目

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	ほぼ全ての利用者の
			利用者の2/3くらいの
			利用者の1/3くらいの
			ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	毎日ある
			数日に1回程度ある
			たまにある
			ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	ほぼ全ての家族と
			家族の2/3くらいと
			家族の1/3くらいと
			ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	ほぼ毎日のように
			数日に1回程度
			たまに
			ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	大いに増えている
			少しずつ増えている
			あまり増えていない
			全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	○	ほぼ全ての職員が
			職員の2/3くらいが
			職員の1/3くらいが
			ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	ほぼ全ての家族等が
			家族等の2/3くらいが
			家族等の1/3くらいが
			ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

開設し3年目を迎え、日々の食事作り、洗濯物干し、たたみ、掃除、食材の買い物等の家事を日常的に、又、ご利用者の方々の自主的な行動により、職員と一緒にごく自然に行えるようになりました。又、毎日の午後のレクリエーション、散歩等には、ご利用者さんの方から「今日は何があるのかしら？」と楽しみにリビングに出て来て下さるようになりました。又、毎日の食事に使う食材は、出来るだけ、体に害のないものをと、敷地内には300坪の畑とハウス棟があり、施設で食しているジャガイモ、玉ねぎの全ては無農薬にこだわった自家製です。他にも年中何らかの野菜を作り、収穫はご利用者の方々にして頂いています。時々行う草取りも日光浴をしながら、気持ち良いと皆さん楽しんで下さっています。さらに、毎食お出ししている味噌汁の味噌は、添加物なしの職員で作った手作り味噌を提供しています。